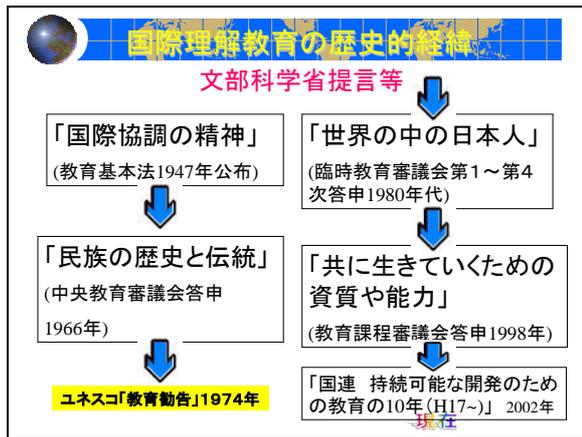




国際理解教育の考え方

～国際社会を生きるための資質をはぐむために～

静岡県総合教育センター
(研修研究部カリキュラム開発課)




国際理解教育とは？

国際理解教育＝ 外国語教育？
国際理解とは＝ 外国のことを学ぶこと？




国際理解教育

世界の諸国民が国を越えて理解し合い、互いに人間として尊敬と信頼をもって協力することによって、世界の平和を実現することを理念とする教育

(小学館「教育基本用語」2000年5月)



これまでの国際理解教育

目標:「国際理解」「国際協力」に狭く限定

→ 外国の自然・地理、そこに住む人々の生活様式や文化の違いを学習する「国際理解」という偏った前提

(例) 国際理解教育とは国家間の「国際協力」の問題に関与すること

思い込み！！

外国人に講演依頼、留学生との交流
＝ 国際理解教育???



国際理解教育

(国際理解教育≡)

国際教育とは、「国際社会において、地球的視野に立って、主体的に行動するために必要と考えられる態度・能力の基礎を育成する」ための教育

(初等中等教育における国際教育推進検討会報告
～国際社会を生きる人材を育成するために～ 2005年8月3日)

①自己決定・行動力
②自己の確立(主体性)
③共生

自己の確立+共生=生きる力



ユネスコの第18回総会 1974年

「国際理解、国際協力および平和のための教育並びに人権および基本的な自由に関する教育についての勧告」採択

- ①基本的人権の尊重
- ②異文化理解
- ③国際協力の精神の涵養



国際化に関する3つの観点

学校

国家の枠組みを越えて、民間や個人ベースで展開する交流・人の移動

Transnationalization

+

国民・国家を前提とした相互依存関係

Internationalization

地球との関係において

Globalization

Think globally, act locally

[国際理解教育の学習内容]

Internationalization

- ・地理、歴史の学習
- ・文化習慣の学習
- ・言語学習

+

Transnationalization

- ・人権にかかわる学習
- ・コミュニケーションにかかわる学習
- ・価値観、倫理観、生き方

+

Globalization

- ・環境にかかわる学習
- ・世界的相互依存関係にかかわる学習
- ・問題解決能力、行動力

いろいろなことに“気づき”

“築ける”学びの場の創造

“気づき”から“築き”へ

それぞれの教育活動の中での具体化を期待しています！

静岡県総合教育センターカリキュラム開発課



用語説明:

Internationalization

国民・国家を前提とした相互依存関係

Transnationalization

国家の枠組みを越えて、民間や個人ベースで展開する交流・人の移動

ここに掲載した図は 以下のような順で構成されています。

1 枚目

1	5
2	6
3	7
4	8

2 枚目

9	13
10	説明
11	
12	

「センタープラン」の基本構想概念

自己理解	他者理解
セルフ・エスティーム	“違い”の認識
固定観念	共通する要素
未来への展望	一人一人の大切さ
相互関係理解	コミュニケーション能力
事物のかかわり合い	聴く
協力	表現する
対立	かかわり合う

< 参加体験型学習活動を活用 >

国際語「言葉」とどう向き合っていくか、人とどう向き合い、前進できるかが問われる時代「アジアの中での日本人」

英語を母語とする人
People who use English as their mother tongue (3) 億人

英語を公用語とする人
People who use English as an official language (10) 億人

英語を『外国語』『国際語』とする人
People who use English as a foreign language or an international language (7) 億人

世界人口60億人として (3) 人に1人が英語を使用する世界に生きる子どもたちの育成